

## 第9回

# 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会 議事要旨

開催日時 2010年7月23日(金) 14:00

開催場所 衛星放送協会会議室

### 出席者

委員長	鳥居 昭夫	横浜国立大学 経営学部 教授
委員長代理	音 好宏	上智大学 文学部 教授
委員	石岡 克俊	慶應義塾大学 産業研究所 准教授
委員	林 尚樹	衛星放送協会 専務理事
委員	井川 泉	(株)シー・ティ・ビーエス 代表取締役社長
委員	仁藤 雅夫	(株)スカパー・JSAT ホールディングス 取締役(経営戦略担当)
委員	加藤 修	(株)スカパー・JSAT ホールディングス 取締役(財務・管理担当)
事務局	木田 由紀夫	(株)スターチャンネル 取締役社長
	鈴木 正市	(株)日本ケーブルテレビジョン 経営企画部長
	小川 正人	スカパーJSAT(株) 放送事業本部 放送営業部長
	後藤 剛士	スカパーJSAT(株) 経営戦略本部 経営企画部 マネージャー
	藤田 高弘	(株)東北新社 メディア本部 管理部 企画チーム

### 【資料】

- ・ 議事次第、席次表  
第8回議事録  
第8回議事要旨

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 9-2 「普及促進委員会」開催の状況について        | 9-3 [別紙3] 第7回プラットフォームガイドライン委員会(社内委員会)議事録 |
| 9-3 ガイドラインの運用状況について           |  |
| 9-3 [別紙1]事業者連絡会・経営者連絡会        | 9-4 放送事業者のプラットフォームガイドラインに関する委員会への問題提起    |
| 9-3 [別紙2]スカパー-1・スカパー-e2 事業者動向 |  |

## 1. 委員長挨拶

鳥居委員長より「第9回 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」を開催する宣言があった。これに続いて、事務局から委員・事務局のメンバーに変更があったことが報告された。

## 2. 議事録確認

鳥居委員長より、前回の議事録（案）および議事要旨（案）の確認が委員に対してなされ、了承された。

## 3. 申立の有無

事務局から、前回の本委員会から今日に至るまで、特に申立は無かったとの報告がなされた。

## 4. 衛星放送のプラットフォームガイドラインの運用状況について

スカパーJSAT 側委員による説明

(1) ガイドライン運用全般について「9-3 ガイドラインの運用状況について」に則り説明した。

(2) スカパー!の事業者向け情報開示についての説明「資料ガ委 9-3 」

事業者連絡会「別紙1」

開催日時 2010年3月19日（金）

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

1. 2010 ワールドカップ試合中継内事業者様告知枠に関するご案内
2. 2010 年度顧客維持プログラムについて
3. スカパー!基本料顧客のまとめ請求実施について
4. 司法書士名による滞納料金通知トライアル運用報告
5. 同月内解約運用開始に伴う EXTRANET（日時件数）への影響について
6. EPG 外部配信について
7. 見込み/無料体験サービスセットへの事業者様チラシ同梱について

開催日時 2010年4月20日（火）

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

1. 会報誌リニューアルのご報告
2. 2010 年度上期 広告宣伝展開について
3. 2010 年度4 - 6 月期販促施策のご案内

- 4.スカパー!アワード 2010 実施概要
  - 5.スカパー!Net てれび/ケータイてれびサービス終了について
  - 6.スカパー! SD 専用チューナー販売終了について
  - 7.スカパー!サービス (J3/J4) 設備保守作業に伴う休止のお願い
  - 8.W 杯に関する EPG 表記のお願い
  - 9.スカチャン 3D 開局および 3D コンテンツの共同制作について
- その他

#### 経営者連絡会

##### 2009 年度 第 4 回経営者連絡会

開催日時 2009 年 3 月 9 日 (火)

開催場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席 60 法人 90 名

#### テーマ

- 1.2010 年度の経営方針について
- 2.2009 年度 (Q3) の業績概要
- 3.放送事業本部 2009 年度レビューおよび今後の展開
- 4.マーケティング本部 2009 年度レビューおよび今後の展開

##### 2010 年度 第 1 回経営者連絡会

開催日時 2010 年 7 月 2 日 (金)

開催場所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席 78 法人 166 名

#### テーマ

- 1.2010 年度人事・組織体制変更について
- 2.2010 年度 加入目標件数について
3. 新任役員ご挨拶
4. これまでの事業収支と 2009 年度の業績概要
5. 放送事業本部 2009 年度レビューと今後の展開
6. マーケティング本部 現状報告と HD 移行施策について

#### 放送事業者の開閉局の動向 (10 年 3 月 ~ 6 月) 「資料ガ委 9-3 」

スカパー! : 開局 17ch | 閉局 1ch | 名称・内容等変更 39ch | 料金変更 7ch

スカパー!e2 : 開局 1ch | 閉局 0ch | 名称・内容等変更 3ch | 料金変更 3ch

### (3) 普及促進委員会の開催状況

「資料9-2」に沿って、事務局より報告された。

親会が31回、W.Gは30回開催されており、前回の本委員会以降に開催された親会(第28,29,30,31回)の主な内容についての説明。この期間の主なテーマは、SDからHDへの各チャンネルの移行とHDパック構築について。HDへの移行は本格的に行っていく確認はなされたが、HDパック構築については全体状況確認後再検討するという事になったと報告された。

これらについて、有識者委員からHDパック構築について議論が未了になった経緯についての質問が出た。スカパーJSAT側からは、これについてまだHD化していない事業者に対する説明不足であったとの説明がなされた。また、放送事業者委員からは、HDへ移行については事業者が大きく関心を持っており、円滑に進めてほしいとの意見が出された。

またHD化に関連して、有識者委員からHD化後のガイドラインの運用について議論を進めるべきと意見が出された。

(4) スカパーJSAT社内のプラットフォームガイドラインに関する委員会の議事録についてスカパーJSAT側委員からスカパーJSAT社内のプラットフォームガイドラインに関する委員会に関する報告がなされた。2009年度第4四半期における放送事業者のチャンネル内容・料金等変更や終了時に、ガイドラインに反することなく適正に運用されていると説明された。また社内委員会の開催時期について、有識者、事業者各委員から質問がなされたが、スカパーJSAT側委員から今回は人事異動及びワールドカップ開催の影響による例外的事案であると説明がなされた。

## 5. 「プラットフォームガイドラインに関する委員会への問題提起」について

事務局より、前回、事業者から指摘された事項につき、内容の説明がされ、それに関する議論がなされた。(資料9-3)

- (1) 経営者連絡会が定型的なものになって、スカパー!サービスとe2サービスの営業収益を明確に分離した上で、使途実績を説明してほしい
- (2) 今の手数料については、加入を増やすことを前提に料率を決めている。加入が増えていないこの状況でも料率は変わらないのか。
- (3) PPVを中心にしたスカパー!のコンテンツ事業は、他のチャンネル事業者とも協力し訴求力あるコンテンツを展開すべき。PPVを中心にしたスカパー!のコンテンツ事業は、他のチャンネル事業者とも協力し訴求力あるコンテンツを展開すべき。
- (4) HDを扱うスカパー・ブロードキャスティングの位置づけについて明確にしてほしい。
- (5) スカパーJSATと、スカパー・ブロードキャスティング社のスカパーHD!事業との区別を明確にして、販促・宣伝におけるe2事業との公平性を担保してほしい。
- (6) プラットフォームサービスと衛星事業が一緒になっているので、衛星事業だ

け切り離して説明してほしい

(7) スカパーJSAT が勧誘活動等を代理店等の第三者に委託している場合や個人情報処理業務を外部に委託している場合、委託者が不適切な行為または不適切な業務を行っていることが判明した時に、関係する委託放送事業者等に対して情報の提供と善後策を通知してほしい。

(8) スカパーJSAT は独占的な存在で、事業者はスカパーJSAT が提供する「標準サービス」以外を選択できない。提供内容と準じた対価」について複数設定し、委託放送事業者等が選択するシステムに変更することを要望する。

(9) パック・セットを組成、変更しようとする場合のプラットフォーム事業者の関与は、その内容に対する提案、助言となっているが、現行のパック商品が変更や廃止の提案を困難とする商品構成になっており、ガイドライン規定にそぐわない状態であるため検証を要望する。

以上意見に対して、事務局より(4)を除き本委員会の主題とは性格を異にしており、意見を本委員会から普及促進委員会やスカパーJSAT に伝えるという方向性が示された。

(4)に関しては、スカパーJSAT 委員より本委員会に以下のように説明がなされた。

(4)で指摘されている、サービスごとの販売促進のバランスに問題があるという意見は、普及促進委員会での議題とするのが妥当だが、指摘の点については決算直後の事業者連絡会でも各事業の収支に関する資料は公開しているので参考にしていただけると説明があった。またプラットフォーム事業と衛星事業と区別を明確にしてほしいという(6)の意見に関しても、IR 情報で参照いただけるとされた。

この点について、放送事業者委員から、放送で利用する衛星打ち上げ用のように、両方の事業にかかわり、なおかつ大きな資金が必要な事業について、関心を持つ放送事業者もいるとの指摘があった。この点について、スカパーJSAT 側から今後対応を検討する旨が回答された。

## 6. 意見

スカパーJSAT 側から、放送事業者からの本委員会への意見提出が匿名である点について、本委員会に必ずしも適さない意見が集り、かえって普及促進委員会等の活動を妨げることにつながるのではという意見が提出された。

この点について、事務局から、意見の事務局到着時には事業者名は明らかになっているが、委員会提出の際に、匿名化していることが説明された。また放送事業者委員から、事業者すべてが普及促進委員会等の活動に参加しているわけではないと説明され、有識者委員からも意見を吸い上げるルートを狭めることはあまり妥当でないとの意見がだされた。また、有識者委員より、当委員会を含めた各委員会の主旨や役割分担を事業者に対し明示すると共に、普及促進委員会と当委員会の連絡を密にし、全事業者の意見を吸い上げるルートを確保すべきとの意見が出された。

以上